

「交通環境学習で 歩いて楽しい御嵩町づくりを！」

御嵩町教育委員会

御嵩町の環境教育は、平成20年度から交通エコロジー・モビリティ財団による交通環境学習等支援事業により再構築され、意欲的な実践へと変容してきた。御嵩町環境基本計画を基に、交通環境学習の視点を「交通環境学習で歩いて楽しい御嵩町づくりを！近いところは、歩くか、自転車で行きましょう。クルマの使い方を見直しましょう。」と設定し、実践に努めてきた。各学年の教材は、交通環境学習の視点に基づき、現行カリキュラムの中から洗い出し、複数年継続できるようにしている。

実践事例として、生活科では「まちたんけん」の学習で、「歩く」ことの価値を実感させている。4年社会科「きょう土に伝わる願い～ぼくらの電車いきいきプラン～」では、先人の鉄道敷設の願いや努力を知り、公共交通機関の必要性に気付かせている。5年社会科「自動車をつくる工業～御嵩からのエコ大作戦～」では、エコドライブの実践やエコカーの必要性を発信している。6年総合学習では、中山道を歩き・調べ、歩くことにより発達した中山道や御嵩の今後について、自分の考えを発信している。交通環境学習のまとめは、参観日や御嵩町環境フェスタで展示や発表をして、地域に発信し高い評価を得ている。

今年度御嵩町は、国から「環境モデル都市」に選定された。低炭素社会を目指す交通環境学習の取組に一層弾みがついている。